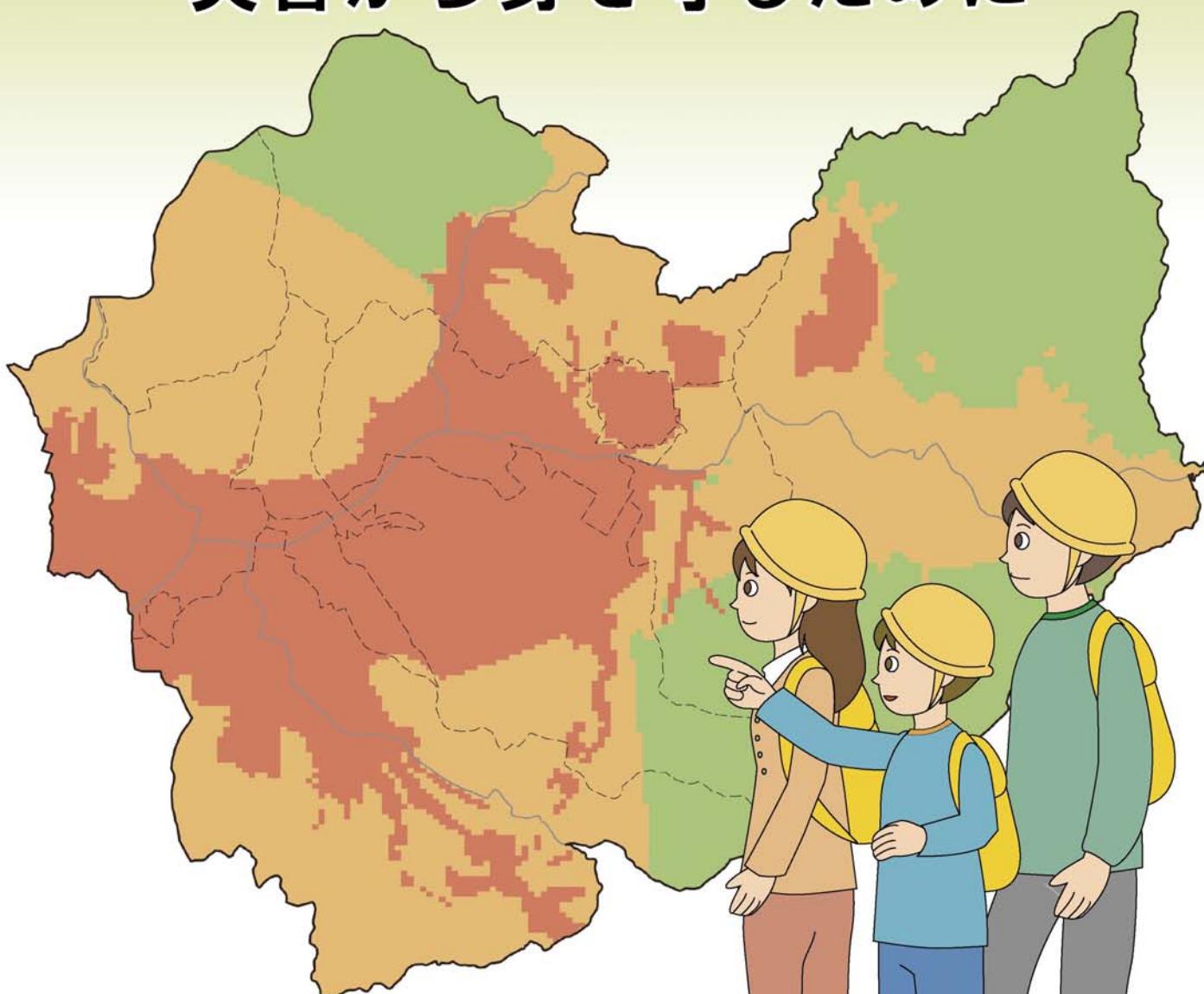


 宇治田原町
地震ハザードマップ
～災害から身を守るために～



お問い合わせ

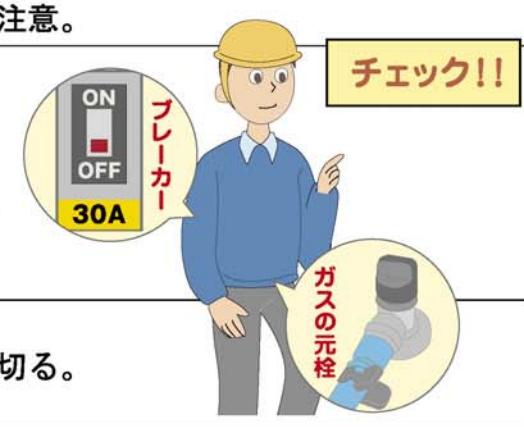
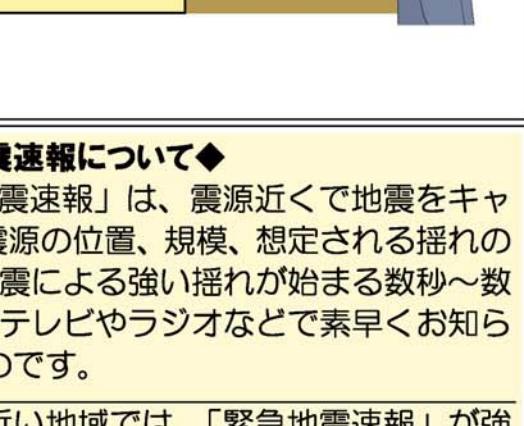
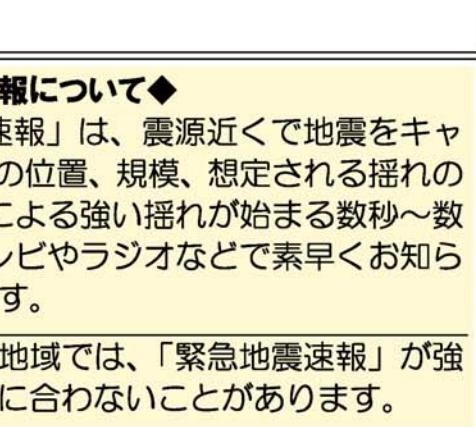
宇治田原町役場 総務課

電話：88-6631（直通）

88-2250（代表）

■地震発生時の行動～身の安全を確保し、落ち着いて避難しましょう～

■時間経過別行動マニュアル

避難準備	地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いて自分の身を守る 机の下などへもぐる。倒れている家具や落下物に注意。 ●火の始末をすばやく コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。 ●ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する 	
		<ul style="list-style-type: none"> ●火元の確認・初期消火 ●家族の安全を確認 ●靴を履く ガラスの破片などから足を守る。 ●非常持ち出し品を用意する ●がけ崩れの危険が予想される地域はすぐ避難 	
	1~2分	<ul style="list-style-type: none"> ●隣近所の安全を確認 火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火する。 ●余震に注意 大きな地震の後には余震が発生するので注意。 	
	3分	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオなどで情報を確認 間違った情報に惑わされないように。 ●電話はなるべく使わない ●家屋倒壊などのおそれがあれば避難する ブロック塀やガラスに注意。 車はなるべく使用しない。 	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> ●出火防止を ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。 ●自宅を離れるときはメモを残す 	
	5~10分	<ul style="list-style-type: none"> ●消火・救出活動 隣近所で協力して、消火や救出を。 自分たちで手に負えない場合は、消防署などへ通報する。 	
	10分~数時間	<ul style="list-style-type: none"> ●生活必需品は備蓄でまかなう 災害発生から3日間は、外からの応援は期待できない。 ●災害情報、被害情報の収集 役場などからの広報に注意する。 ●壊れた家には入らないこと 	
	~3日くらい	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織を中心に行動を ●集団生活のルールを守る ●助け合いの心を 	
	避難生活では		

【重 要】

「緊急地震速報」を見聞きした際、あわてず適切な行動ができるよう事前に訓練しておきましょう！



◆緊急地震速報について◆

「緊急地震速報」は、震源近くで地震をキャッチし、震源の位置、規模、想定される揺れの強さを、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、テレビやラジオなどで素早くお知らせするものです。

*震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

■災害時要援護者への支援～地域が一丸となって助け合いましょう～

高齢者や乳幼児、または障がいのある方など、災害時にさまざまな助けを必要とする人たちがたくさんいます。地域が一丸となって、要援護者を守るために助け合いをこころがけましょう。

○高齢者や寝たきりの方を支援する場合には

- ・緊急時は背負って安全な場所に移動しましょう。
- ・不安にさせないように声をかけましょう。



○耳が不自由な方を支援する場合には

- ・話すときは口を大きく動かしましょう。
- ・手話、筆談、身振りなども使って、正確な情報を伝えましょう。

○目が不自由な方を支援する場合には

- ・災害時には声をかけて情報をしっかりと伝えましょう。
- ・杖を持っていない手のひじのあたりを軽く持って、避難を誘導しましょう。

○車いす利用の方を支援する場合には

- ・階段を移動する場合は、必ず3人以上で車いすを持ちあげて移動しましょう。
- ・手助けする人が1人しかいない場合は、ひもなどを使って背負って避難しましょう。

■自主防災組織

自主防災組織とは、地域の方々がお互いに協力し、災害から自分たちの地域を守るために結成されている組織です。

いざというときには、隣近所の協力、助け合いが非常に大切です。地震に限らず、風水害や火災など、いつ災害が起こるかわかりません。

日頃から、ご近所同士のコミュニケーションを深め、互いに協力しながら、防災活動に取り組むことが重要です。



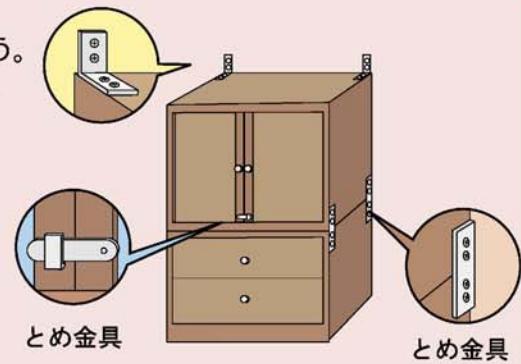
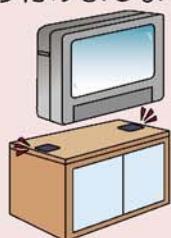
<阪神・淡路大震災では>

阪神・淡路大震災では、倒壊した家の下敷きになったことで、多くの犠牲者が出了ましたが、助け出された人の大半が、隣近所の方々によって救出されました。

■被害を防ぐポイント～家の中や周囲の安全対策を心がけましょう～

◆家の中の安全確認

- 戸建住宅などの場合は、できるだけ2階で寝るようにしましょう。
- 棚やタンスなどの家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- 部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
- テレビや置物などには、すべり止めを取り付けましょう。



とめ金具

とめ金具

◆家の周囲の安全確認

ベランダ

植木鉢などを整理整頓



屋根

屋根の不安定なアンテナや
不安定な屋根瓦を補強

ブロック塀

ブロック塀はしっかり
点検補強

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼
りましょう

プロパンガス

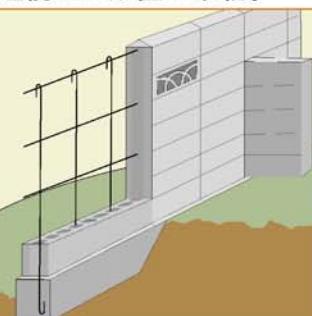
ポンベをしっかり鎖で
固定

◆ブロック塀の安全対策

鉄筋:縦筋と横筋が固定されて入っているか

直径9mm以上の鉄筋を縦横方向に
80cm以下の間隔で入れます。特に縦筋は基礎から壁頂まで1本のものに。

透かしブロック:多くないか
多いと壁の強度が低下。
連続した配置は禁物。



破損:傾きやひび割れ、破損
箇所はないか

高さ:高すぎないか
高さは2.2mを超えないようにします。

基礎:しっかりしているか

30cm以上、地盤に埋めこむ

控え壁:支えの控え壁はあるか

高さ1.2mを超える塀は、長さ3.4m
以下の間隔で控え壁を設置。控え壁
にも鉄筋を入れ、塀とつなぎます。

■木造住宅の耐震化に関する補助事業

町では、木造住宅の耐震診断・耐震改修に要する経費の一部を補助する事業を行っています。
下の表以外の木造住宅の耐震診断・耐震改修については、窓口までご相談ください。

補助事業	対象となる建築物	内容
木造住宅 耐震診断事業	①昭和56年5月31日以前に着工したもの（これ以外も一部可） ②木造住宅で、延べ面積の2分の1以上を住宅として使用しているもの ③簡易耐震診断の結果、評点が9点以下のもの	①木造住宅耐震診断士を派遣して耐震診断を行う ②無料で耐震診断等を実施する（ただし、交通費相当分の定額負担あり）
木造住宅 耐震改修事業	①昭和56年5月31日以前に着工したもの（これ以外も一部可） ②上記の耐震診断を実施した結果、1.0未満→改修の結果0.7以上向上するもの ③建築士が耐震改修設計及び工事監理を行うもの	耐震改修（設計・工事）に要した対象経費の1/2を補助（最高60万円又は10万円）

□耐震診断の申込み・相談窓口

宇治田原町役場 建設・環境課

電話：0774-88-6637（直通） 0774-88-2250（代表）

問診6 大きな吹き抜けがありますか？（1辺の長さが4.0m以上かどうかに着目します）

項目	評点	評点
一辺が4m以上の大好きな吹抜はない	1	
一辺が4m以上の大好きな吹抜がある	0	
よく分からぬ	0	
説明	外見は形の整っている建物でも大きな吹抜があると、地震時に建物をゆがめる恐れがあります。ここでいう大きな吹抜とは一辺が4m(2間)をこえる吹抜をいいます。これより小さな吹抜はないものと扱います。	

問診7 1階と2階の壁面が一致しますか？

（ご自宅が枠組壁工法の木造〔ツーバイフォー工法〕なら、ここの評点1とします。）

項目	評点	評点
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある または、平屋建である	1	
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない	0	
よく分からぬ	0	
説明	2階の壁面と1階の壁面が一致していれば、2階の地震力はスムーズに1階壁に流れます。2階壁面の直下に1階壁面がなければ、床を介して2階の地震力が1階壁に流れることとなり、床面に大きな負荷がかかります。大地震時には床から壊れる恐れがあります。枠組壁工法の木造（ツーバイフォー工法）は床の耐力が大きいため、2階壁面の直下に1階壁面がなくても、評点1とします。	

問診8 壁の配置はバランスがとれていますか？（1階部分の外壁に着目します）

項目	評点	評点
1階外壁の東西南北どの面にも壁がある	1	
1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある	0	
よく分からぬ	0	
説明	壁の配置が片寄っていると、同じ木造住宅の中でも壁の多い部分は揺れが小さく、壁の少ない部分は揺れが大きくなります。そして揺れの大きい部分から先に壊れていきます。ここでいう壁とは約91cm(3尺)以上の幅を持つ壁です。せまい幅の壁はここでは壁とみなしません。	

問診9 屋根葺材と壁の多さは？

項目	評点	評点
瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である	1	
和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない	0	
よく分からぬ	0	
説明	瓦は優れた屋根葺材のひとつです。しかし、やや重いため採用する建物ではそれに応じた耐力が必要です。耐力の大きさは概ね壁の多さに比例しますので、ご自宅は壁が多い方がどうか判断して下さい。	

問診10 どのような基礎ですか？

項目	評点	評点
鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎	1	
その他の基礎	0	
よく分からぬ	0	
説明	鉄筋コンクリートによる布基礎・ベタ基礎・杭基礎のような堅固な基礎は、その他の基礎と比べて同じ地盤に建っていても、また同じ地震に遭遇しても丈夫です。改めてご自宅の基礎の種別を見直して下さい。	

■安否情報の確認～災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板の使い方～

◆災害用伝言ダイヤルの使用方法

【災害用伝言ダイヤル171】災害時にのみ利用できるNTTのサービスです。

※サービス開始は、テレビ・ラジオ等で通知されます。毎月1日及び15日、正月三が日、防災週間(8/30～9/5)、防災とボランティア週間(1/15～1/21)は体験利用ができます。



※災害後、緊急でない電話はなるべく控えましょう！

◆ケータイ「災害用伝言板」の利用方法

※携帯電話からは、災害用伝言板が利用できます。詳細は次のアドレスをご確認ください。

NTTドコモをご利用の方	→ http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/
a uをご利用の方	→ http://www.au.kddi.com/notice/saigai_dengon/
ソフトバンクをご利用の方	→ http://mb.softbank.jp/mb/information/dengon/
ウィルコムをご利用の方	→ http://www.willcom-inc.com/ja/info/dengon/
イー・モバイルをご利用の方	→ http://emobile.jp/service/option1.html#saigai

◆京都府防災・防犯情報メール配信

京都府や市町村から、気象情報や防災情報を携帯電話へのメールでお知らせします。

○登録方法

anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp

まで、携帯電話で空メールを送信してください。返信されたメールの中に記載されているURLへアクセスし、登録してください。



ラジオ周波数

停電時の情報はラジオから

局名	周波数
NHK第1	621 KHz
NHK第2	828 KHz
KBS京都	1143 KHz
NHK FM	82.8 MHz

■わが家の防災メモ～家族の連絡先等をメモしておきましょう～

家族・知人・ 親戚などの 連絡先	名前	電話(会社・学校・携帯)	メモ

メモ欄（その他連絡事項、避難場所への行き方などを記入しておきましょう。）